

## 社会科（地理的分野）学習構想案

期 日 令和3年11月26日（金）第5校時  
場 所 上天草市立龍ヶ岳中学校 体育館  
学 級 龍ヶ岳中学校 2年1組 17名  
指導者 龍ヶ岳中学校 教諭 岸谷 祐太郎

### 1 単元構想

<b>単元名</b>	第3章 2節「中国・四国地方」（東京書籍P.191～202）		
<b>単元の目標</b>	(1) 中国・四国地方について、「交通・通信」に着目しながら、諸資料を通してその地域的特色やそこから生じる課題を捉えることができる。 (2) 中国・四国地方の地域的特色を追究する際に、「交通・通信」に関して身近な地域と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。 (3) 中国・四国地方の地域的特色や課題を理解するため、「交通・通信」に関する探究課題を設定し、身近な地域と関連付けながら意欲的に追究している。		
<b>単元終了時に期待する生徒の姿</b>			
「交通・通信網」の整備が地域の産業や人口などと深い関係をもっていることを理解し、過疎化や高齢化など地域の課題に向き合う学習を通して、地域の一員として積極的に社会参画しようとする生徒。			
<b>指導計画と評価計画（7時間取扱い 本時7/7）</b>			
<b>過程</b>	<b>時間</b>	<b>主に働かせたい見方・考え方と問い</b>	<b>身につけさせたい力 （知・技 / 思・判・表 / 態）</b>
課題把握	1	<b>【空間的相互依存作用】【地域】</b> ・中国・四国地方と天草には、どんな共通した課題があるのだろう。	中国・四国地方と天草に共通する過疎化や高齢化という課題に気づき、設定した学習課題の答えを予想し、追究することができる。（態）
	単元を貫く課題：それぞれの郷土と「ずっと関わり合っていく」ためには、どんな「もの・こと・ひと」が必要なのだろう。		
課題追究	2	<b>【空間的相互依存作用】【地域】</b> ・なぜ、山陰地方ではガードレールが黄色なのだろう。	山陰地方のガードレールが黄色の理由を、山陰地方の気候的な特色を基に説明することができる。（思・判・表）
	3	<b>【空間的相互依存作用】【地域】</b> ・なぜ、明石海峡大橋の開通で徳島市の小売業の販売額が減少したのだろう。	交通・通信網が整備されたことにより発生した利点と課題を、グラフ等の資料を基に捉えることができる。（知・技）
	4	<b>【空間的相互依存作用】【地域】</b> ・なぜ、大阪の市場に入荷する野菜は近畿地方以外のものが多いのだろう。	交通網の整備によって産業が発展していったことを、グラフ等の資料を基に捉えることができる。（知・技）
	5	<b>【空間的相互依存作用】【地域】</b> ・なぜ、上勝町の西蔭さんは過疎化・高齢化が進む状況でもいきいきと生活することができるのだろう。	中国・四国地方では、交通・通信網を活かしたどんな地域おこしが行われ、人々にどんな影響を与えているかについて、諸資料を基に意欲的に追究している。（態）
課題解決	6	<b>【空間的相互依存作用】【地域】</b> ・中国・四国地方の人々にとって交通・通信網の整備は、どんな影響を与え、どんな役割を果たしているのだろう。	中国・四国地方の地域的特色を踏まえて、交通・通信網の整備が与えた影響や役割を具体的な事例を挙げて説明している。（思・判・表）
	7 本時	<b>【空間的相互依存作用】【地域】</b> ・過疎化・高齢化と共に在り続けるであろう郷土に自分は何ができるだろう。	中国・四国地方の学習を基に「天草おこし」を追究する中で、地域の一員として主体的に社会参画しようとする意欲を高めている。（態）

## 2 本実践のねらいと生徒の実態

本実践（単元）のねらい																																		
<p>本単元は、学習指導要領の地理的分野の内容の「C 日本の様々な地域」の「(3) 日本の諸地域」の「④交通や通信を中核とした考察の仕方」にあたる。この中項目は、適切に区分された日本の諸地域を、空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。このうち、「④交通や通信を中核とした考察の仕方」については、地域の道路や鉄道、航路や航空路、通信網などの交通・通信に関する特色ある事象を中核として、それをそこでの産業や人口や都市・村落などと深い関係をもっていることや、地域間の結び付きの整備が地域の課題となることなどについて考察させたい。</p> <p>本実践は、中国・四国地方が抱える交通や通信に関する特色を、天草の実態と関連付けながら多面的・多角的に考察し、交通や通信のそれぞれの良さや課題に気付くことで、地域の特色を考える地理的な見方・考え方を育成したい。また、将来どの地域で暮らすことになっても、その地域や郷土の良さや課題に気付き、持続可能な地域作りに向けて社会参画しようとする態度の育成にもつなげたい。</p>																																		
本単元における系統																																		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>小5「地球環境と人々の生活」 我が国の国土の様子と国民生活 我が国の情報と産業の関わり</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>中2「日本のさまざまな地域」 日本の姿 世界から見た日本の姿</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>中2「日本の諸地域」 中国・四国地方 「交通・通信とともに変化する 人々の暮らし」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>中2「身近な地域の調査」 身近な地域を見直そう テーマを決めて調査しよう 地域の将来像を考えよう</p> </div> </div>																																		
生徒の実態（単元の目標につながる学びの実態）																																		
<p>■本単元の学習に関するする知識および関心（意識調査の結果） <span style="float: right;">（単位：人）</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">調査内容</th> <th style="text-align: center;">よく</th> <th style="text-align: center;">まあまあ</th> <th style="text-align: center;">あまり</th> <th style="text-align: center;">ない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問①中国・四国地方の県名を知っているか。</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>問②中国・四国地方の略地図を書けるか。</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>問③天草のことが好きか。</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>問④将来も、天草に住み続けるか。</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>問⑤なぜ、問④のように答えたか。</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table> <p>○天草が好きだし、生まれ故郷で、家族が住んでいるから。          ●自宅から通える高校が1つしかなく、大学などもないから。          ●天草には、将来やってみみたい職業がないから。          ●買い物する場所や遊ぶ場所が少なく、不便さを感じるから。          ●過疎化や高齢化が進んでいるから、このまま生活していけるか心配だから。</p> <p>■考察</p> <p>○中国・四国地方の県名や略地図の解答結果から、基本的な位置や名称は理解できていると思われる。          ○中国・四国地方の課題の一つである過疎化や高齢化は、郷土である天草にも当てはまる共通の課題であるため、自分事として捉えやすいと思われる。          ○天草のことは好きだが、住み続けようとは思わない、ただし郷土が衰退することは悲しい・寂しいと考えている生徒が多い。          ○過疎化や高齢化が進む郷土に対して、ネガティブなイメージをもっている生徒が多いと思われる。</p>					調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない	問①中国・四国地方の県名を知っているか。	9	5	2	1	問②中国・四国地方の略地図を書けるか。	2	7	6	2	問③天草のことが好きか。	9	6	2	0	問④将来も、天草に住み続けるか。	1	5	9	2	問⑤なぜ、問④のように答えたか。				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない																														
問①中国・四国地方の県名を知っているか。	9	5	2	1																														
問②中国・四国地方の略地図を書けるか。	2	7	6	2																														
問③天草のことが好きか。	9	6	2	0																														
問④将来も、天草に住み続けるか。	1	5	9	2																														
問⑤なぜ、問④のように答えたか。																																		

## 3 指導に当たっての留意点

- 本単元では中国・四国地方の結び付きが交通や通信の整備により変化していることを学び、それらの地理的事象を身近な地域の天草と関連付けて考察させることで理解を深めさせたい。
- 本時（7時間目）は、前時（6時間目）の後半からの2時間扱いとして授業を行う。学習課題「天草とずっと関わり合っていくためには、どんな『天草おこし』が必要だろう」は前時に設定し、課題を追究する。
- 本単元における「天草おこし」とは、「天草を活性化させるための地域おこし」を生徒が捉えやすいように簡略化した造語である。

#### 4 本時の学習

(1) 目標 中国・四国地方の地域おこしを参考に、郷土である天草の現状や交通・通信網の整備に着目して、天草を活性化させるために自分自身にできることを追究することができる。

#### (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項
導入	10分	<p>1 前時に考えた天草における過疎化や高齢化、交通・通信網等の課題をグループごとに発表し共有する。</p> <p>2 資料から追求課題をつかむ。 ◇過疎化や高齢化を解決することは難しそう。 ◇過疎化や高齢化を受け止めた上での取組が必要。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">【追求課題】過疎化・高齢化とともにある郷土のために、「今から」私たちにできそうなことは何だろうか？</p>	<p>○単元の最後の授業のため、単元の学習課題の解決に向けた意識を高める。</p> <p>○過疎化・高齢化の現実から、追求課題と対峙できるよう資料の提示の仕方を工夫する。</p>
展開	25分	<p>3 自分の将来像（3つのパターン）に応じて、郷土のために自分自身にできることは何かを追究する。</p> <p>A：将来もずっと天草に住み続けるだろう B：一度天草を離れるが、天草にUターンするだろう C：天草を離れて生活し続けるだろう</p> <p>(1) 自分の将来像を選択し、個人で追究する。 (2) 同じ将来像を選択した生徒同士でグループを作り、考えを深め、発表する。</p> <p>A◇天草に残り地域の高齢者を支えながら生活したい。 ◇豊かな自然や過密による都市問題がないことなど、過疎地域の強みを生かした取組を行っていききたい。 B◇進学先で学んだ技術を地域のために生かしたい。 ◇自分も高齢者として戻ってくるつもりだから、高齢者が住みやすい地域にしたい。 C◇郷土の特産物を使った商売をすることで、天草のよさを広めていききたい。 ◇SNSを使って天草のよさを発信していききたい。</p>	<p>○事前アンケートの結果を示し、生徒の将来像の変容を確認する。</p> <p>○主体的に学習に取り組めるように、生徒一人一人に自己決定させる。</p> <p>○持続可能な天草にするためには、「もの・こと」だけでなく「ひと」の視点もあることに気づかせ、課題解決へ向け思考を促す。</p>
	8分	<p>4 ゲストティーチャーの話から考えを深める。 ◇都会にはない郷土のよさがわかった。 ◇郷土のために自分にもできそうなことがみつかった。</p>	<p>○天草にUターンされ、現在も天草の活性化に尽力されているGTから、天草のよさや生徒たちにできること、大事にしてほしいことを伝えてもらう。 (インタビュー動画を視聴させる)</p>
終末	7分	<p>5 本時のまとめを行う。 ◇将来、天草を離れようと思っていたけど、住み続けるのもいいかなと思い始めました。 ◇郷土を離れてもできそうなことが見つかったので、自分ができる方法でずっと天草と関わっていききたい。</p>	<p>○「今から」の一人一人の思いと行動が、持続可能な天草（それぞれの郷土）にとって大切であるとする生徒の変容を評価して本時を振り返る。</p>

#### (3) 本時の評価

評価の観点	評価基準（予想される生徒の発言・記述）
主体的に学習に取り組む態度	A：天草と関わり続けるために必要な「もの・こと・ひと」について、これまでの学習や資料等を基に追究し、自分が郷土を活性化させる一人であるという意識を高めている。
	B：天草と関わり続けるために必要な「もの・こと・ひと」について、これまでの学習や資料等を基に追究している。